

2021年2月19日

【お知らせ】2022年1月24日に改めて発売日決定のお知らせを発行しています。

▼クラウド管理型無線LANシステム『AIRRECT(エアレクト)』発売日決定のお知らせ(2022年1月24日)

<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2022/01/jn220124-2/jn220124-2.html>

【お知らせ】2021年4月6日に発売延期のお知らせを発行しています。

▼クラウド管理型無線LANシステム『AIRRECT(エアレクト)』発売延期のお知らせ(2021年4月6日)

<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2021/04/jn210406-3/jn210406-3.html>

セキュリティ専用アンテナを搭載

クラウド管理型無線LANシステム「AIRRECT(エアレクト)」を新発売

無線LAN運用の効率化とコスト削減を両立



【AIRRECT AP-6810】



【商品ロゴ】

品名	無線アクセスポイント 「AIRRECT(エアレクト)AP-6810」	無線LANコントローラー 「AIRRECT Cloud(エアレクト クラウド)」 ライセンス(1/3/5年)
品番	PN91568	1年:PN91000-1Y/3年:PN91000-3Y 5年:PN91000-5Y
希望小売価格 (税抜・工事費別)	¥187,800	1年:¥29,000/3年:¥65,000 5年:¥96,000
発売日	2021年4月21日	

パナソニック株式会社の100%出資連結会社であるパナソニックLSネットワークス株式会社(本社:東京都港区 社長:林 宏治)は、高セキュリティ・高速無線環境を実現する無線LANアクセスポイント「AIRRECT(エアレクト)」、無線LANコントローラー「AIRRECT Cloud(エアレクトクラウド)」を2021年4月21日に発売します。

近年、オフィスの無線LAN環境は不正クライアントからのアクセスの脅威、モバイル・クライアントの増加、動画コンテンツやWeb会議などによる通信データの高容量化などの課題に直面しており、高いセキュリティ性と通信パフォーマンスが望まれています。

今回発売する「AIRRECT」は、セキュリティ専用アンテナと最新の無線LAN規格であるWi-Fi6(IEEE 802.11ax)に対応した、8x8送受信アンテナを搭載した無線アクセスポイント(以降、AP)です。

高いセキュリティ性を保持しながら、複数クライアントとの同時接続が可能な高速無線環境を提供します。また各APをクラウド上で一元管理する「AIRRECT Cloud」は、無線環境で発生する様々なトラブルをいち早く検知・サポートをする障害原因究明・分析などのオリジナル機能により、情報システム管理者の日々直面するトラブル対応の効率化が図ることができます。

当社は、今後もネットワーク機器の多様なニーズに対し、スイッチングハブを核としたお客様に最適なソリューション、ネットワーク機器・サービスを提供していくことで、安全かつ高速で安定した通信環境の実現に貢献していきます。

<特長>

1. セキュリティ専用アンテナ搭載により、不正アクセスを防止
2. クラウド対応により、無線LAN運用の効率化とコスト削減を両立
3. Wi-Fi6対応により、高速で安定した無線LAN環境を実現

【お問い合わせ先】

パナソニックLSネットワークス株式会社 マーケティングセンター
電話:03-6402-5301(受付:8:30~17:00/平日のみ)

【特長】

1. セキュリティ専用アンテナ搭載により、不正アクセスを常時監視・防止

一般的なアクセスポイント(以降AP)は、無線LAN環境に不正アクセスするクライアントを検知するために、定期的なセキュリティスキャンをデータ送受信アンテナを用いたバックグラウンドで実施します。しかし、この方法では不正アクセスの常時監視・防止は困難な上、セキュリティスキャン実施中のデータ通信はスループット(※1)が低下してしまいます。

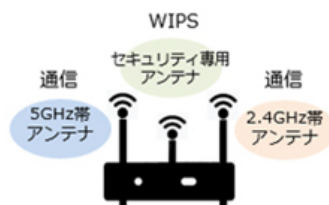
「AIRRECT」は、不正クライアントの侵入を防止するセキュリティ機能であるWIPS(※2)専用アンテナを搭載しているため、不正アクセスを常時監視・防止します。さらに、セキュリティスキャン実施中でもデータ通信のスループット低下はありません。

※1 スループット:単位時間あたりのデータ処理能力

※2 WIPS:Wireless Intrusion Prevention System/ワイヤレス侵入防止機能



<WIPS機能動作画面>



<『AIRRECT』>



<一般的なAP>

2. クラウド対応により、無線LAN運用の効率化とコスト削減を両立

「AIRRECT Cloud」は、「AIRRECT」を一元管理するクラウド型無線LANコントローラーです。従来のオンプレミス型(※3)では高価なコントローラーを拠点毎に設置する必要があり、さらに設置後の各拠点での運用メンテナンスが不可欠でした。

「AIRRECT Cloud」はクラウド型のため、コントローラー機器の設置や点検が不要で、各拠点間の無線LAN環境が一元管理できます。そのため拠点毎に情報システム管理者を配置する必要がなく、運用メンテナンス費用の削減につながります。また、各APのファームウェアバージョンに合わせた設定を自動でダウンロードする機能やトラブルをいち早く検知・サポートする障害原因究明/分析などのオリジナル機能により、情報システム管理者が日々直面する運用作業をサポートします。「AIRRECT Cloud」のライセンス期間(※4)は1年、3年、5年から選択ができます。ライセンス期間内は、常に最新のファームウェアを提供、期間延長も対応可能です。

※3 オンプレミス型:無線LAN内に無線LANコントローラーを物理的に設置する方式

※4 『AIRRECT』をご使用されるには、『AIRRECT Cloud』のライセンス契約が必要です

<代表的なオリジナル機能>

- ・通信異常解析:通信異常発生時に該当APとクライアントを特定、自動で原因解析、対処方法を表示
- ・ロケーショントラッキング:隣接する複数のAPが接続クライアントの位置情報をリアルタイムで共有



<接続状況の一括監視画面>

3. Wi-Fi6対応により、高速で安定した無線LAN環境を実現

『AIRRECT』は、5 GHz帯の8×8送受信アンテナと2.4 GHz帯の4×4送受信アンテナを搭載することにより、スループットが最大4.8 Gbpsの高速無線LAN環境を提供できます。最新の無線LAN規格Wi-Fi6 (IEEE 802.11ax) で採用された技術、OFDMA(※5)により、従来発生していた複数クライアントとの同時接続による通信速度低下や通信切断などの通信パフォーマンスの低下を抑制できます。また、『AIRRECT』はPoE++規格 (IEEE 802.3bt) の給電により最高の通信パフォーマンスを実現できますので、当社のPoE++スイッチングハブ(※6)を含んだネットワーク構成を推奨します。

※5 OFDMA: 直交周波数分割多元接続

※6 GA-ML4TWPoE++: 1ポート当たり最大90 Wの電力を供給可能

<ネットワーク接続イメージ>



【ご参考】

■仕様一覧

品名	AIRRECT AP-6810
品番	PN91568
送受信アンテナ	8×8 (5 GHz帯)、4×4 (2.4 GHz帯)
ストリーム	12 (8.5 GHz, 4:2.4 GHz)
スループット (5 GHz帯)	4.8 Gbps (最大)
スループット (2.4 GHz帯)	1.1 Gbps (最大)
消費電力	35.2 W (最大)、15.8 W (最小)、30.0 W (平均)
サイズ	本体: 230×230×45 mm
質量	本体: 1.39 kg

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。